

クラスター	地域健康増進系クラスター					
授業科目名	メンタルヘルス実践学					
担当者名	責任者	野村 恭子	分担者	YONG KIM FONG ROSELINE		
単位数	1単位(選択)		配当年次	1年次		
授業形態	講義, 実験実習		実施場所	授業計画の〔実施場所〕を参照		
開講期間	2023年10月～2024年3月(日程の詳細は応相談)					
開講曜日・時間	毎週火曜日 18:00～21:00(日程の詳細は応相談)					
授業の概要・到達目標						
授業の目的: 人が日常的に働き, 学び, 他者と関わり, さまざまな社会参加を実現していくために重要な地域メンタルヘルスの考え方を学ぶ。ひきこもり(社会から離脱し孤立した状態)のリハビリテーションや地域における自殺防止策などを学習する。						
授業の到達目標: 自らの属する地域や職域等において, 必要なメンタルヘルスについて考え, 具体的な対策および研究計画を立案することを目標とする。						
授業の概要: 日本語と英語の両方を使用し, 冒頭に30分間のレクチャーを行う。その後60分のディスカッションを経てプレゼンテーションを30分, 続いてそのフィードバックを30分間行う。議論は, 5W1H (What, Who, When, Where, Why, How) の原則に従う。						
Good mental health enables individuals to work, to learn, to engage with other people and to participate in society. In this module, we will cover the topic of hikikomori (a phenomena of social withdrawal and isolation) rehabilitation and suicide prevention in community. The class will be conducted in both Japanese and English, 30 minutes of lecture in the beginning, followed by 60 minutes discussions, 30 minutes presentations, and 30 minutes feedback. Students should prepare themselves in the basic of qualitative and quantitative research, social determinant of health, and health communications, prior coming to the class. Discussions wil follow 5W1H principles (What, Who, When, Where, Why, How)						
1,2. Orientation						
3,4. Community care for hikikomori						
5,6. Community suicide prevention						
7,8. Fieldwork and research methods						
9,10. Intermediate research presentations						
11,12. Open forum						
授業計画						
	講義 (講義)	義 義	題 内	目 容)	担当教員	講座名 〔実施場所〕
1	オリエンテーション				YONG KIM FONG ROSELINE	衛生学・公衆衛生学 〔講座セミナー室〕
2						
3	ひきこもりの地域ケア				YONG KIM FONG ROSELINE	
4						
5	地域の自殺と予防				YONG KIM FONG ROSELINE	
6						
7	フィールドワークと研究手法				YONG KIM FONG ROSELINE	
8						
9	研究中間発表				YONG KIM FONG ROSELINE	
10						
11	研究発表(公開フォーラム)				YONG KIM FONG ROSELINE	
12						
授業形態および成績の評価方法・基準						
セミナー室での実習+自習, 計45時間で1単位とし, 評価は出席状況と提出したレポートの内容を考慮して行う。15hours of class and 15 horus of fieldwork/research. Evaluation is based on attendance and reports.						
問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)						
YONG KIM FONG ROSELINE, roselineyong@med.akita-u.ac.jp						
その他特記事項						
履修に関する情報: 社会人大学院生など, 勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。教科書・参考文献: 必要に応じて資料を配付する。						
自学自習時間における学習内容:						
※ 国内・国外新聞に目を通し, 健康に影響を及ぼすと思われる記事を2本選び, 5W1Hの基準でレポートする。何が起きている(What), 影響を受けるのは誰か(Who), その影響はいつから始まるか(When), 影響される範囲は(Where), 原因(Why), その発展の仕方(How)。質的・量的研究, 健康の社会的決定要因, ヘルスコミュニケーションの基礎についての事前学習をしておくこと。						